

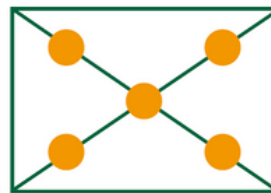
分析用土壌の採取について

採取場所

圃場に合わせて、適切な採取方法を選んでください。

対角線法

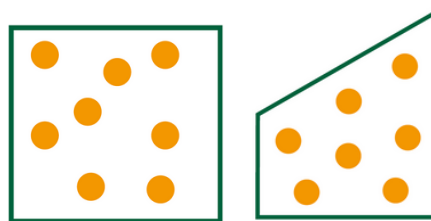
- 推奨圃場
水田・露地圃場・施設圃場など
- 採取場所
圃場中心と、角を結ぶ対角線の中央よりやや四隅側



合計5箇所から採取

ランダム法

- 推奨圃場
小さい圃場・いびつな圃場
- 採取場所
圃場内で偏りがないようランダムに採取



合計5～10箇所から採取

採取方法

下記いずれかの方法で作土層から土壌を採取し、均等になるように混ぜ合わせてください。

土壌状態が比較的均一



- 推奨圃場
耕起した圃場や水田・休耕地

- 採取方法
 - 1.表層を取り除く（1～2cm）
 - 2.地表面からV字型に掘る
 - 3.V字部分の表面の土を均一に採取

前作の畝を次作に再利用



- 推奨圃場
無耕起の圃場や水田

- 採取方法
 - 1.表層を取り除く（1～2cm）
 - 2.畝内の作土層を均一に採取

次作で畝を作り直す予定



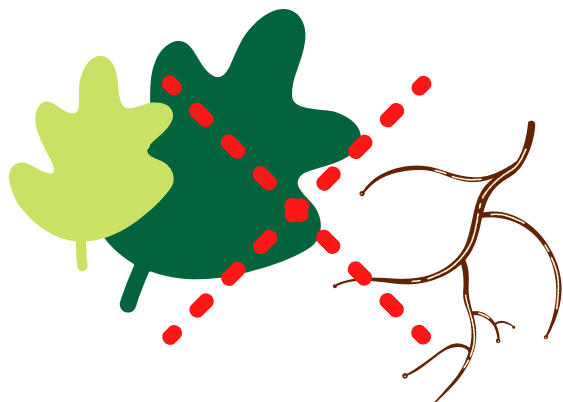
診断依頼時に畝が残っているパターン

- 推奨圃場
再耕起予定の圃場や水田

- 採取方法
 - 1.表層を取り除く（1～2cm）
 - 2.畝の上部から隣の畝の肩にかけて土を均一に採取

採取時の処理

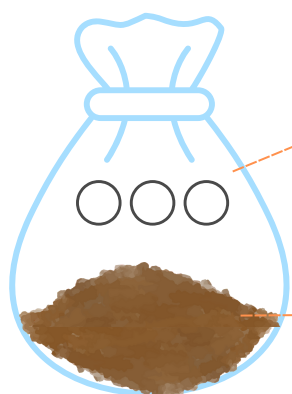
- ・植物残渣や根は、出来る限り入らないようにしてください。



- ・水たまりや肥料がこぼれた所などからは採取しないでください。



- ・採取した土壌を500g程度ポリ袋に入れ、均等になるように混ぜます。
- ・土壌を入れたポリ袋にお客様名と圃場名を記載してください。



お客様名・圃場名

同一圃場で2回目以降の分析依頼をされる場合は、圃場名を前回と同一の名称でご依頼ください。

500g

- ・同一圃場で、生育不良土壌と生育良好土壌を比較する場合[※]

生育不良土壌・生育良好土壌を分けて採取してください。

土壌を入れたポリ袋に「生育不良土壌」「生育良好土壌」などにご記載いただき、どちらの土壌かわかるようにしてください。



※各々分析費用が発生いたします。